

R2年度 益田市人生会議（ACP）の取り組みについて

1. 在宅医療・介護連携推進協議会で勉強会を実施

目的：一体的な啓発が図れるよう、人生会議（ACP）の必要性と啓発のポイント（何を啓発していくか）について構成メンバー間で共有する

対象：在宅医療・介護連携推進協議会の構成メンバー

時期：第2回の協議会（R2.10.7）

内容：勉強会「ACP（人生会議）～必要性と啓発のポイント～」

講師 益田市医師会訪問看護ステーション 管理者 齋藤 貴美子氏

2. 啓発状況の把握と情報共有

目的：それぞれで取組んでいる人生会議（ACP）の啓発活動について、主に次の2点を確認し、構成メンバーで共有する

①啓発活動の実施状況

②今後、取組めそうなこと（誰に、どのようなことをどう啓発するか）

時期：9月～10月

内容：協議会の構成メンバーに調査を実施

3. 11月を普及月間として、広く市民に啓発（11月30日は人生会議の日）

目的：市民が「人生会議（ACP）」という言葉にふれる機会をつくる

対象：一般市民

内容：・ミニのぼり・ポスターの設置（市役所窓口、医療機関窓口等）

・市広報11月号に掲載

・お知らせ放送の活用

・人生会議（ACP）の勉強会～益田の医療を守る市民の会役員会（11/12）

益田市議会福祉環境委員会（11/17） 他

4. 一体的な啓発の実施

目的：啓発する媒体・ツール等を共有し、役割分担をしながら一体的に啓発する

内容：様々な場面で共通の媒体を使用して啓発を行う

媒体①人生会議（ACP）パンフレット ※益田市医師会作成

②益田圏域入退院連携ガイド（必要に応じて）

アンケート～「あんきな座談会」で使用するアンケートの項目を共通して聞く

5. 評価方法

- ・市が益田市医師会に委託している益田市在宅医療・介護連携推進事業「あんきな座談会」の実施回数、参加人数、アンケート結果
- ・その他啓発活動の実施回数、参加人数、アンケート結果
- ・4の媒体①②の活用状況